

(もし、あなたが音を感じたら、書いてみてね。)

の音が聞こえてきたよ。

この絵の中から



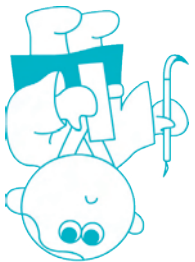
この絵を見つめてみよう。



製作協力

〈あーとネット・とちぎ ワークシート研究会〉

(答えはページのページにあるからね。)



文字が並んでいます。読めるかな？

〈ヒント〉



絵の中から  
どんな音が  
聞こえてくるかな...

○ そと、耳を澄ましてごらん...

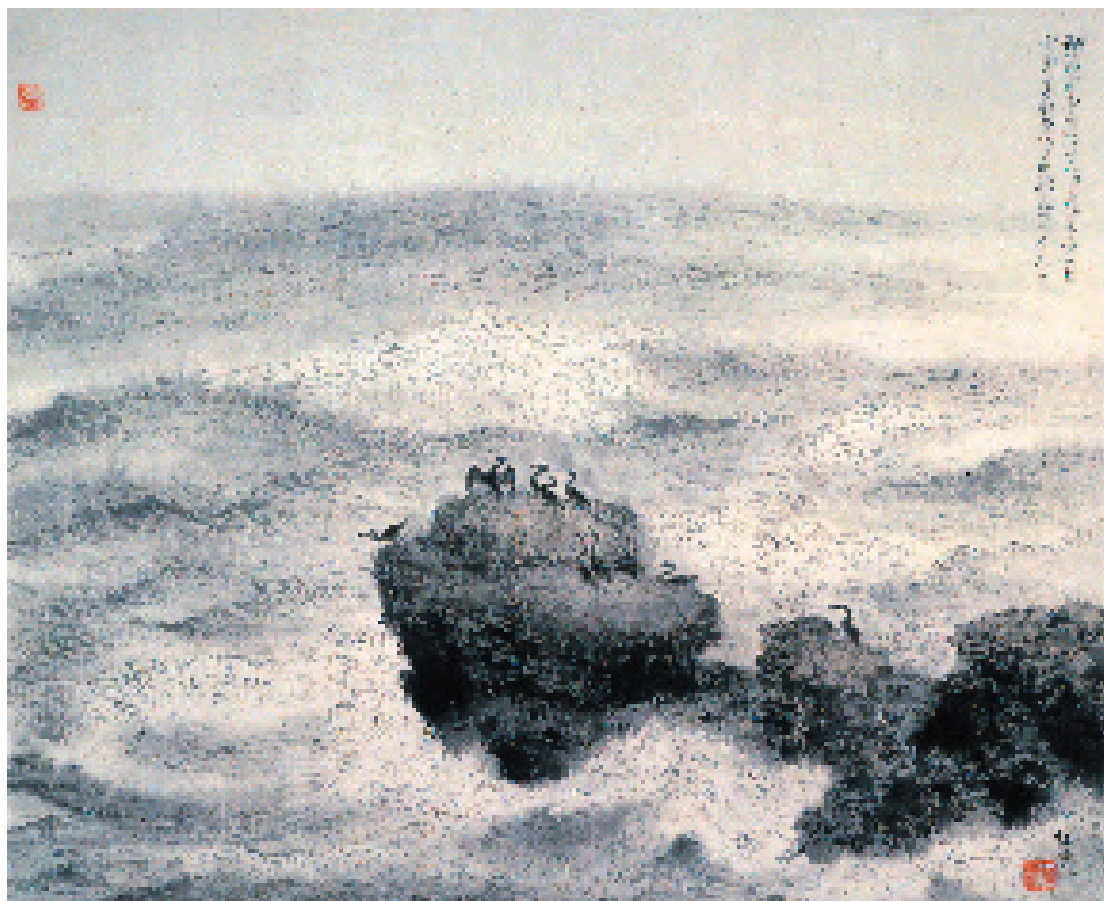
なにが  
見えるかな？

どんな色に  
見えるかな？

どんな感じが  
するかな？

何か書いてあるよ  
なんだろう...  
???

○ この絵の右上を見てごらん...



小杉放庵「蒼海」 1933（昭和8）年

小杉放庵記念日光美術館蔵

みづかきとつばさあるみにならば  
やなくしわたつみのなみのたはむれ

この絵を描いた人は、<sup>こすぎほうあん</sup>小杉放庵といひます。

放庵は1881（明治14）年、日光に生まれました。そして82歳で亡くなるまで、自然をいつくしむような絵をたくさん描きました。

この絵の題名は「<sup>そうかい</sup>蒼海」です。青々とした広い海のことを「蒼海」といひます。画面の右上には、小杉放庵が作った和歌が書いてあります。

「みづかきと つばさあるみに ならばやな くしわたつみの なみのたはむれ」  
放庵の歌には、こんな意味が込められているのかもしれない。

（鳥のような）水かきと翼がある身体になれたらなあ。

海の神のように波とたわむれるのに。

あなたの眼には、どんな海が映りましたか？

この絵に興味を持ってくれた人、小杉放庵のことをもっと知りたくなった人は、日光市にある「小杉放庵記念日光美術館」へぜひ来ててくださいね。